

# 大阪経済の情勢

(2022年10月指標を中心に)

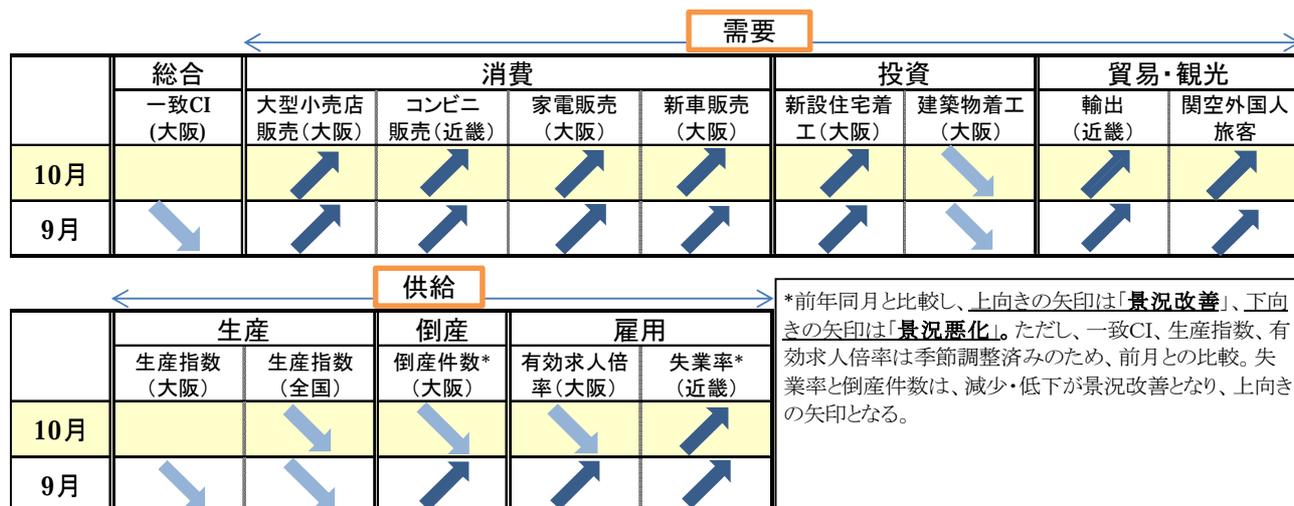
2022年12月  
大阪府商工労働部  
(大阪産業経済リサーチ&デザインセンター)

## 「大阪経済は、緩やかに持ち直している」

**需要面**では、個人消費は、緩やかに持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;9月)は増加。投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は増加。輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

**供給面**では、生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(9月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(9月)は上昇。全国の生産(10月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(9月)は上昇。

**先行き**では、新型コロナウイルス感染症の影響や、物価上昇等による経済への影響について、今後の動向に引き続き注意が必要。



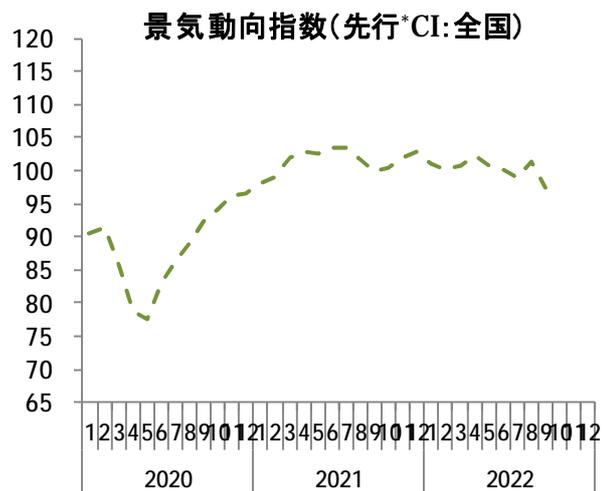
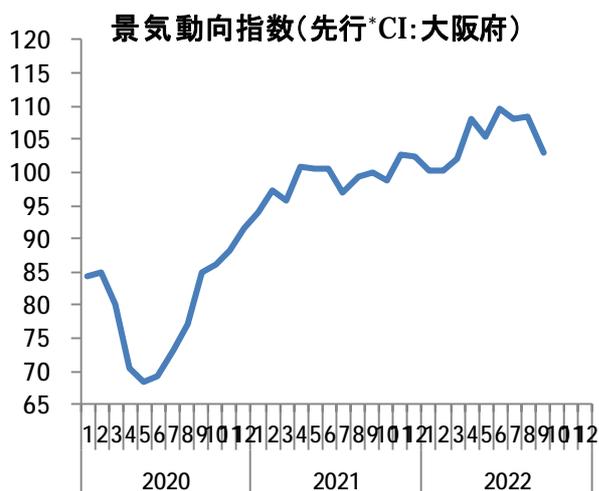
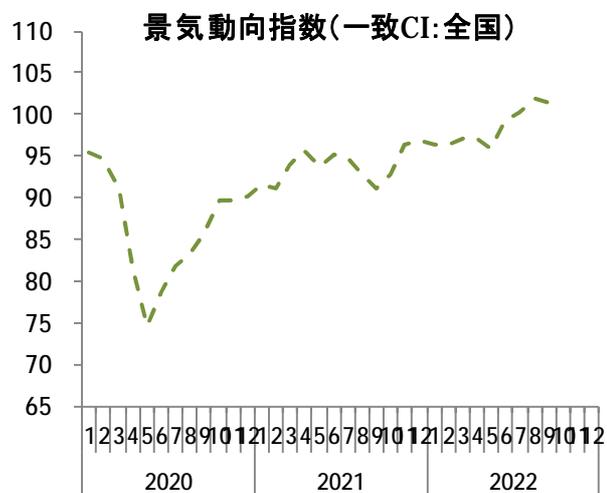
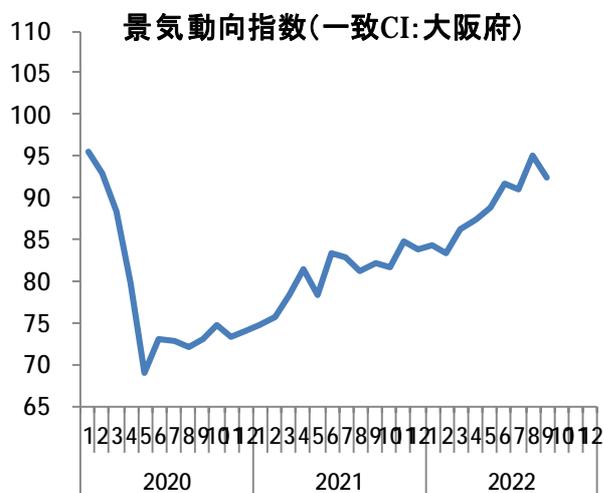
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2022年10月公表分) (2022年8月指標中心)	先月(2022年11月公表分) (2022年9月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター 「大阪経済の情勢」	大阪経済は、持ち直しの動きがみられる。	大阪経済は、緩やかに持ち直している。
内閣府 「月例経済報告」	景気は、緩やかに持ち直している。	景気は、緩やかに持ち直している。
近畿経済産業局 「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している。	近畿地域の経済は、緩やかに持ち直している。
日本銀行大阪支店 「関西金融経済概況」	関西の景気は、感染症の影響が和らぐもとの、全体として持ち直している。	関西の景気は、感染症の影響が和らぐもとの、持ち直している。

※以下、Pは速報値を表す

## [総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(9月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「生産財出荷指数」「製造工業生産指数」が低下に寄与。全国(9月)の一致CI、先行CIはともに低下。】



(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、2015年=100

\* 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

	大阪府		
	22年8月	9月	10月
先行CI	108.3	P 102.9	
一致CI	95.0	P 92.4	

	全国		
	22年8月	9月	10月
先行CI	101.3	97.5	
一致CI	101.8	101.4	

### 一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、9月速報)

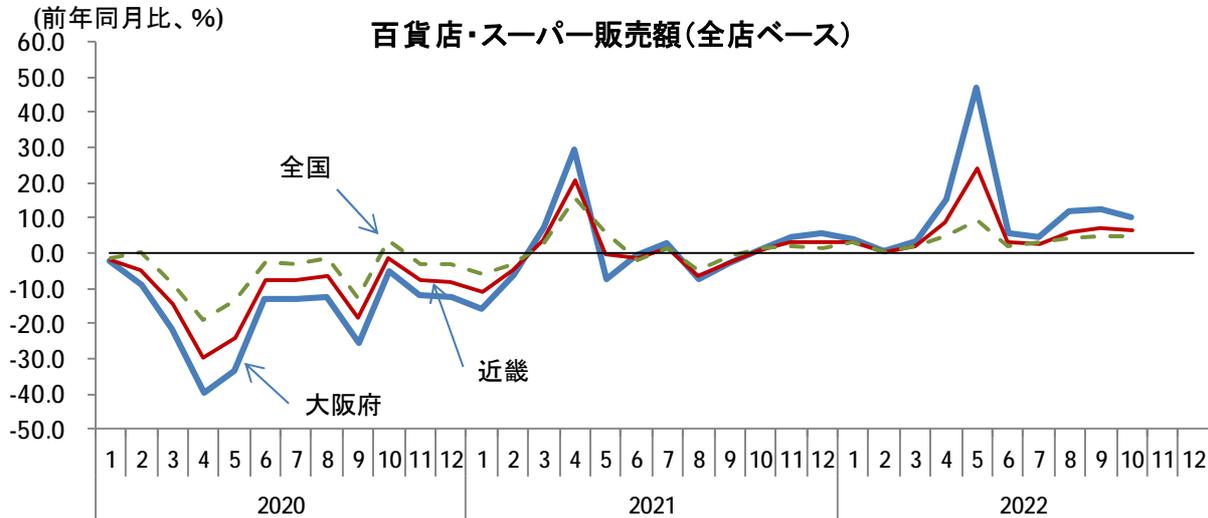
百貨店売場面 積当たり販売額	大阪税関管内 輸入通関額	製造工業 生産指数	生産財 出荷指数	人件費比率 (製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間 指数(製造業)
▲0.40	▲0.08	▲0.89	▲1.18	▲0.72	0.69	▲0.06

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

## [需要] 消費

個人消費は、緩やかに持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;9月)は増加。

### ○百貨店・スーパー販売額(全店)【13ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		22年8月	9月	10月
販売額(億円)	大阪府	1,350	1,343	P 1,472
前年比(%)	大阪府	12.1	12.5	P 10.1
	近畿	6.2	7.1	P 6.6
	全国	4.3	4.8	P 4.9

百貨店販売額(全店)

		22年8月	9月	10月
前年比(%)	大阪府	35.0	30.5	P 19.4
	全国	24.7	19.1	P 10.7

スーパー販売額(全店)

		22年8月	9月	10月
前年比(%)	大阪府	▲2.1	▲0.5	P 1.7
	全国	▲0.5	0.5	P 2.8

### ○コンビニエンスストア販売額(全店)【11ヶ月連続の増加。】

		22年8月	9月	10月
販売額(億円)	大阪府	739	720	P 840
前年比(%)	大阪府	6.8	4.2	P 22.3
	近畿	5.8	2.7	P 13.3
	全国	5.2	2.3	P 6.5

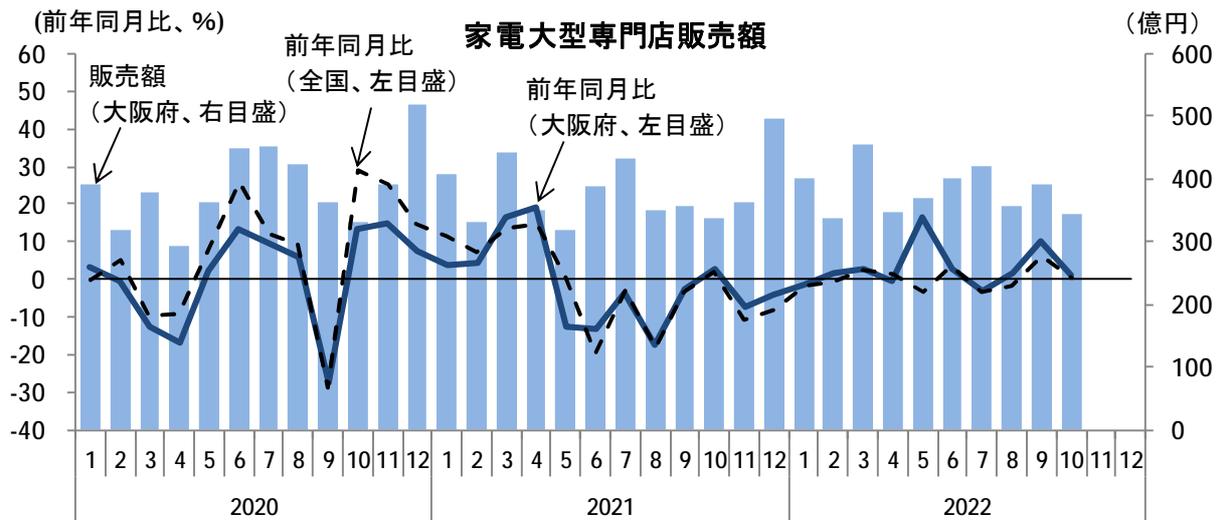
### ○家計消費支出【近畿(9月)は9ヶ月連続の増加。】

		22年8月	9月	10月
円	近畿	271,795	280,983	
前年比(%)	近畿	2.7	10.4	
	全国	8.8	5.9	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

## [需要] 消費

### ○家電販売額【前年同月比で3ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		22年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	1.6	10.3	P 1.2
	全国	▲1.7	6.4	P 0.1

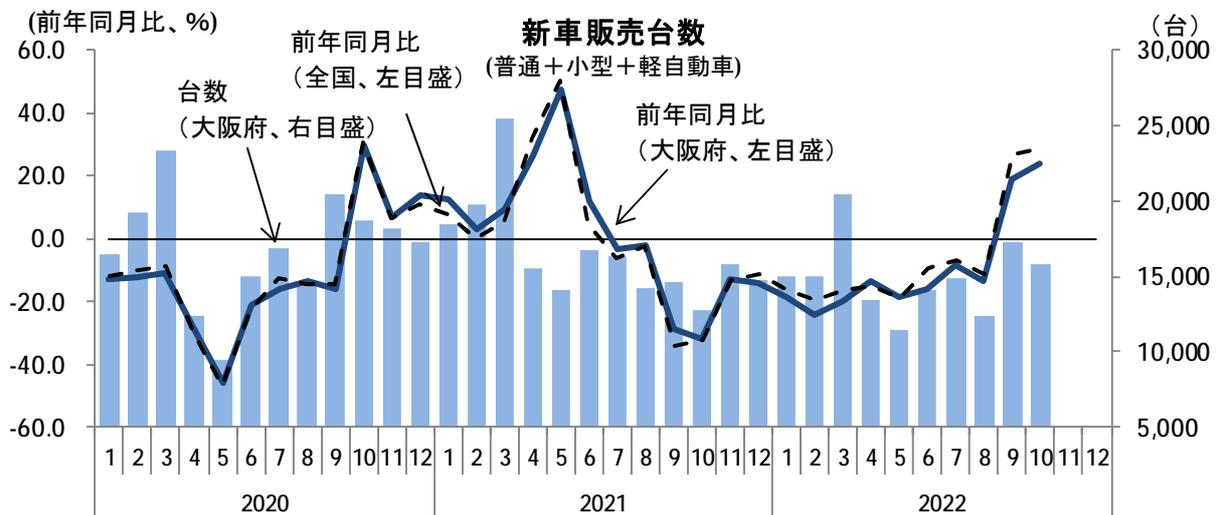
ドラッグストア販売額(全店)

		22年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	7.1	8.1	P 5.3
	全国	5.3	5.6	P 6.0

ホームセンター販売額(全店)

		22年8月	9月	10月
前年比 (%)	大阪府	▲2.5	▲5.9	P ▲1.7
	全国	▲1.1	▲3.2	P 1.9

### ○新車販売台数【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		22年8月	9月	10月
販売額(台)	大阪府	12,307	17,279	15,777
前年比 (%)	大阪府	▲13.5	18.8	24.1
	全国	▲11.2	26.4	28.3

車種別の増減

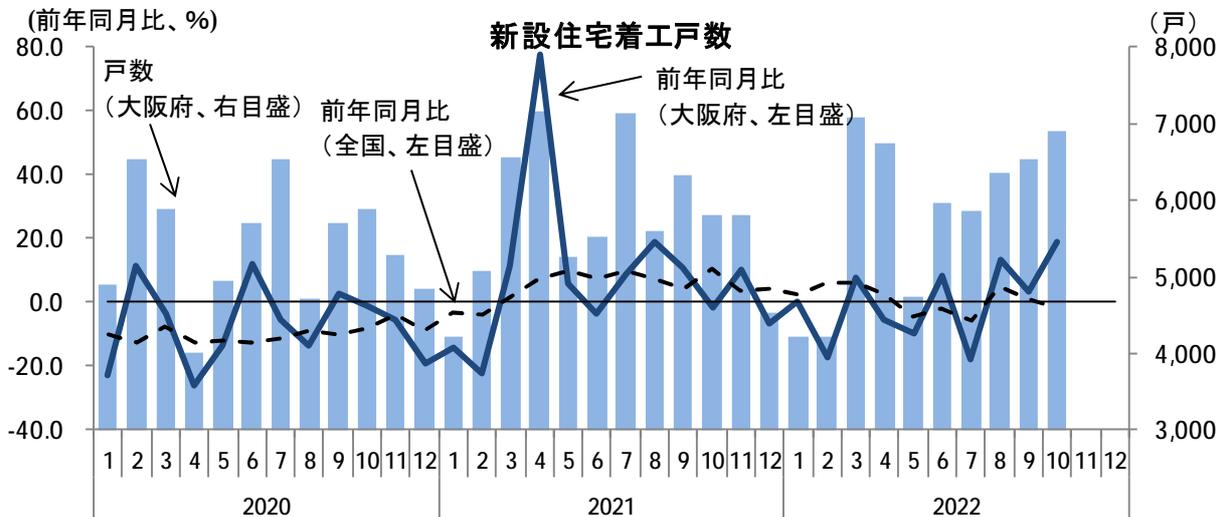
(大阪府、前年同月比(%))、10月)

普通車	小型車	軽自動車
23.4	24.0	25.3

## [需要] 投資

投資は、持ち直しに足踏みがみられる。住宅投資は増加、非居住用建設投資は減少。公共投資は増加。

### ○新設住宅着工戸数【前年同月比で3ヶ月連続の増加。】

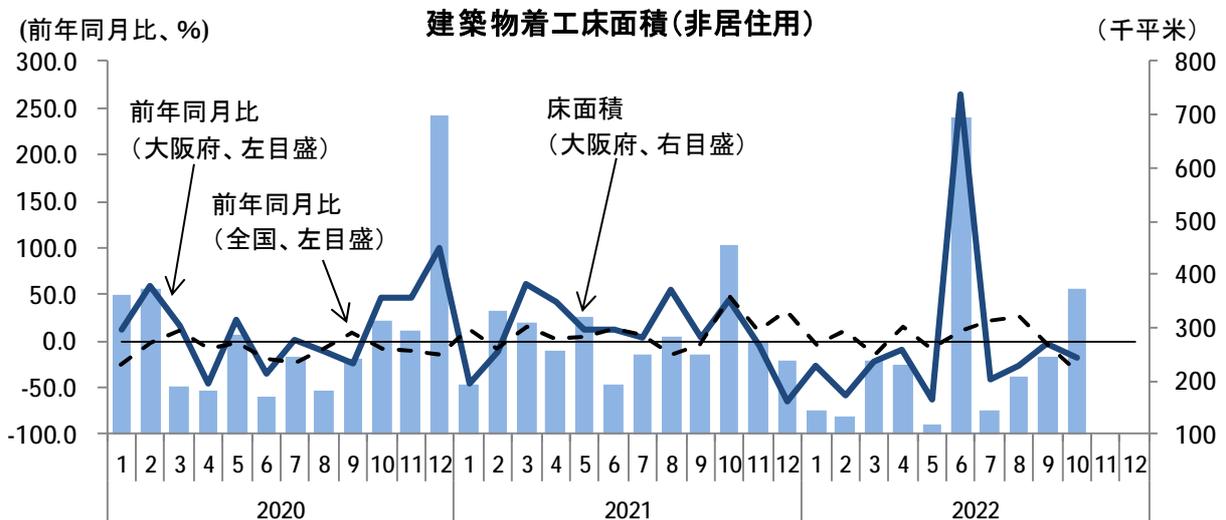


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		22年8月	9月	10月
戸数	大阪府	6,365	6,539	6,888
前年比 (%)	大阪府	13.6	3.5	18.7
	全国	4.6	1.0	▲1.8

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%))、10月)		
持家	貸家	分譲
▲8.1	55.3	▲9.9

### ○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で4ヶ月連続の減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

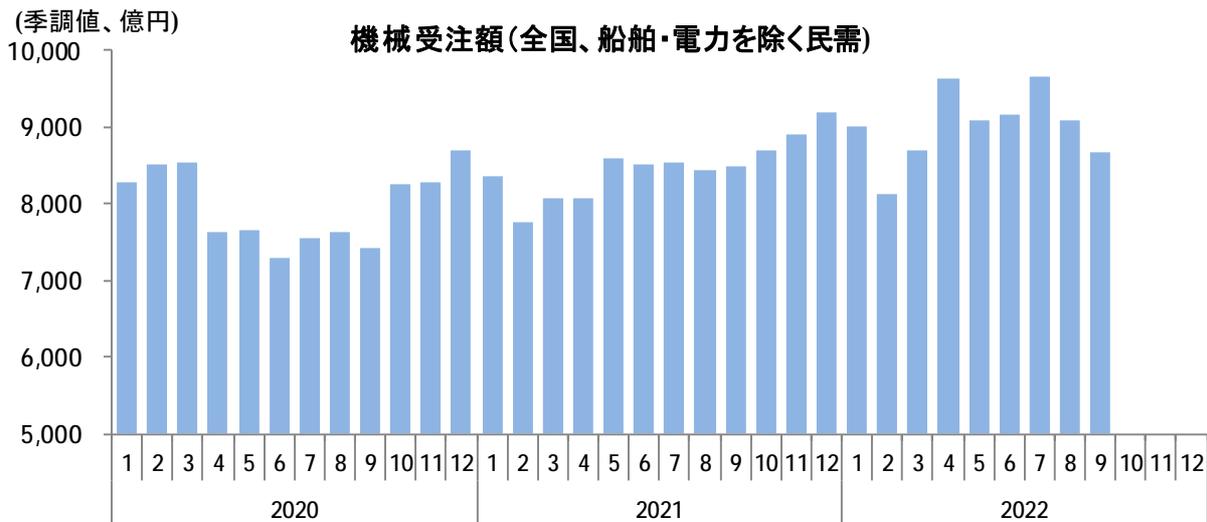
		22年8月	9月	10月
千 m <sup>2</sup>	大阪府	210	246	373
前年比 (%)	大阪府	▲25.6	▲1.9	▲18.0
	全国	27.0	▲3.1	▲32.4

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、10月)	
増加	医療・福祉(29.9)、教育・学習支援業(11.3)
減少	卸売業・小売業(▲44.1)、宿泊・飲食サービス業(▲13.6)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

## [需要] 投資

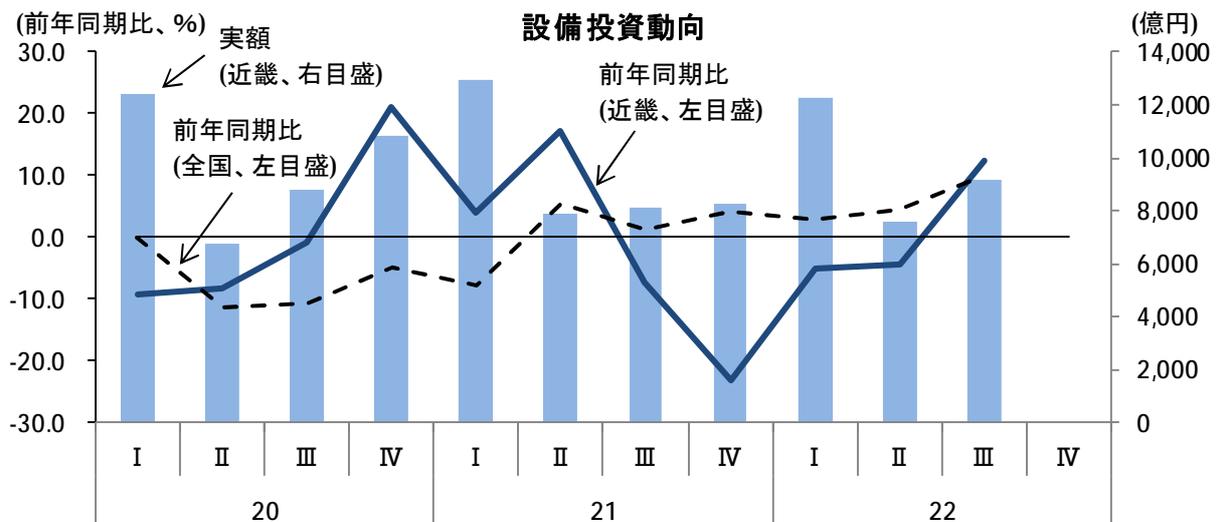
### ○機械受注額【9月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	22年8月	9月	10月
全国(億円)	9,098	8,680	

### ○設備投資動向【7~9月期(近畿)は前年同期比で5期ぶりの増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		22年1~3月	4~6月	7~9月
億円	近畿	12,278	7,557	9,160
前年同期比(%)	近畿	▲5.0	▲4.3	12.3
	全国	3.0	4.6	9.8

### ○公共工事請負金額【3ヶ月連続の増加。】

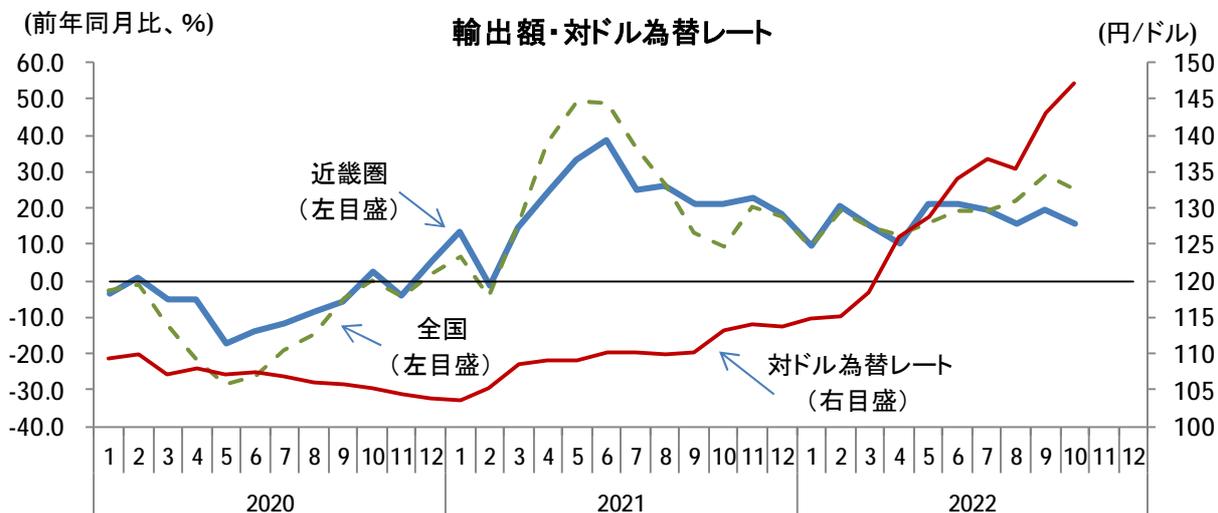
		22年8月	9月	10月
億円	大阪府	423	516	440
前年比(%)	大阪府	21.3	16.4	4.6
	全国	▲0.1	2.4	▲1.9

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

## [需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直している。輸出額は増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【20ヶ月連続の増加。「原動機」、「無機化合物」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】

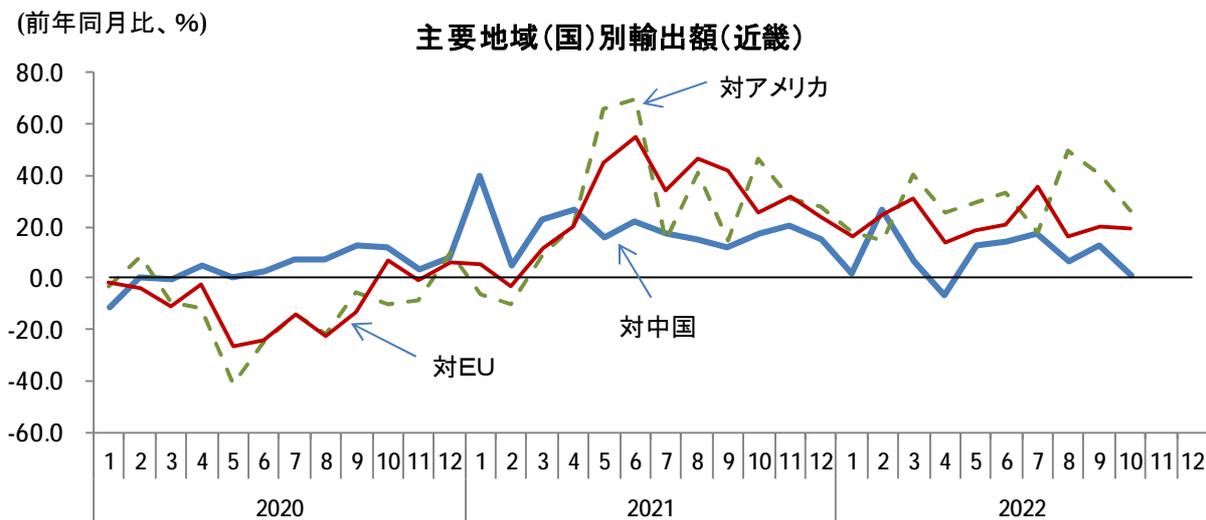


(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		22年8月	9月	10月
輸出額(億円)	近畿	17,593	19,306	P 20,020
前年比 (%)	近畿	15.7	19.5	P 15.6
	全国	22.0	28.9	P 25.3
為替レート(円/ドル)		135.24	143.14	147.01

品目別の主な増減 (近畿、前年同月からの増減額順、10月)	
増加	原動機、無機化合物
減少	半導体等製造装置、科学光学機器



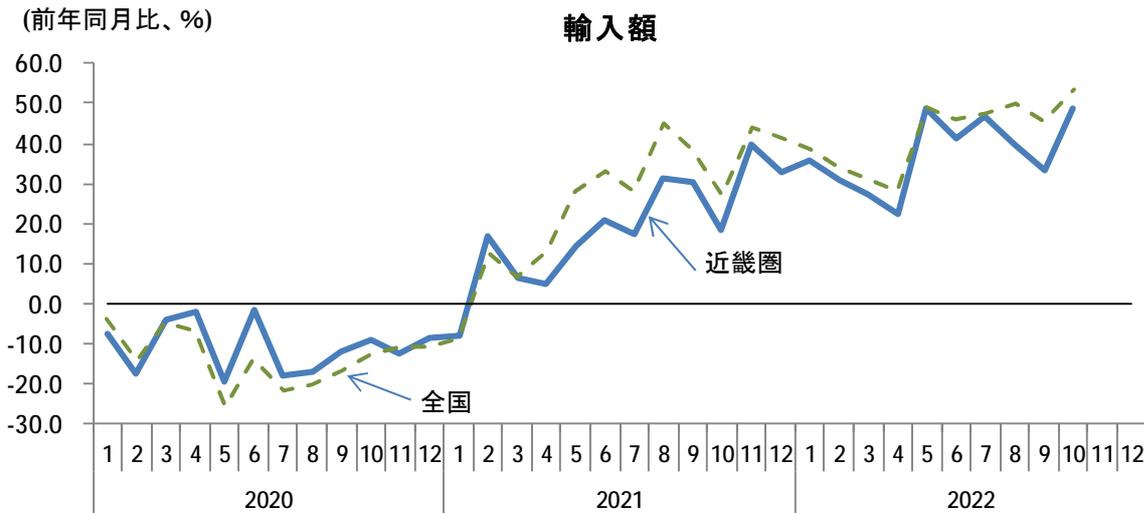
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、10月

アジア(含む中国)	9.5	23ヶ月連続の増加
中国	0.6	6ヶ月連続の増加
ASEAN	29.3	20ヶ月連続の増加
EU	19.4	20ヶ月連続の増加
アメリカ	26.1	20ヶ月連続の増加

## [需要] 貿易・観光

○輸入額【21ヶ月連続の増加。「天然ガス及び製造ガス」、「原油及び粗油」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		22年8月	9月	10月
輸入額(億円)	近畿	18,288	P 18,564	P 19,373
前年比 (%)	近畿	39.7	P 33.2	P 48.6
	全国	49.8	P 45.7	P 53.5

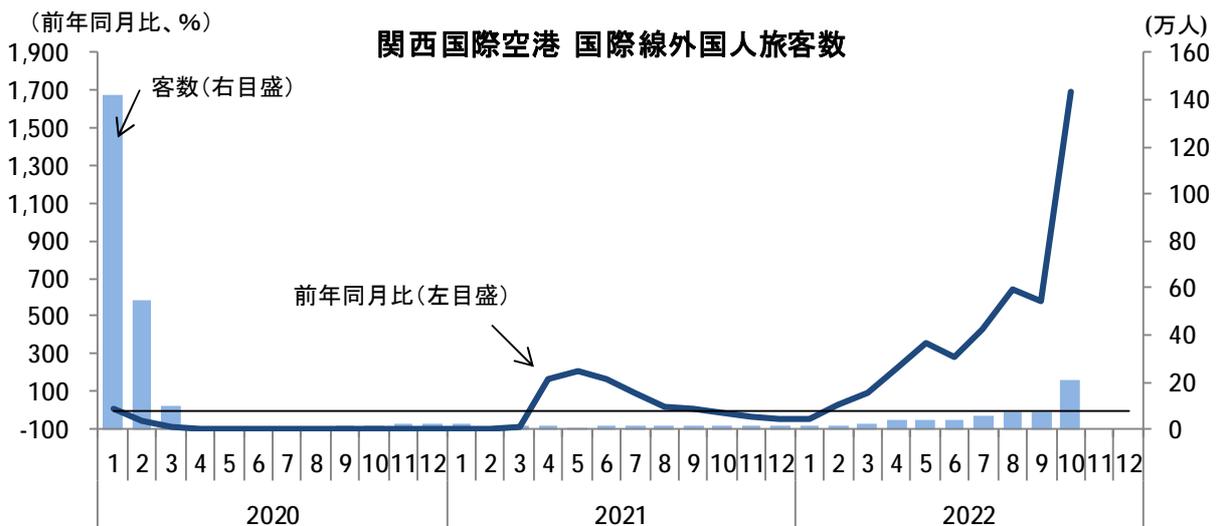
品目別の主な増減  
(近畿、前年同月からの増減額順、10月)

増加	天然ガス及び製造ガス、原油及び粗油
減少	鉄鉱石、医薬品

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、10月

アジア(含む中国)	40.4	21ヶ月連続の増加
中国	38.4	6ヶ月連続の増加
ASEAN	57.2	21ヶ月連続の増加
EU	12.7	3ヶ月ぶりの増加
アメリカ	65.0	6ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で9ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)

	22年8月	9月	10月
万人	7.1	P 7.1	P 20.6
前年比(%)	646.8	P 578.5	P 1696.3

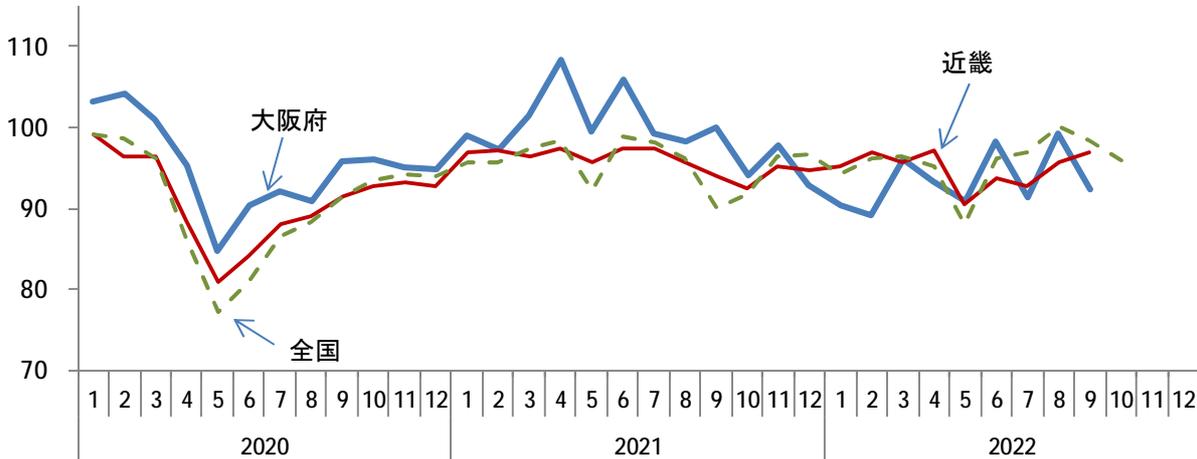
## [供給] 生産・企業活動

生産動向は、一進一退で推移している。大阪府(9月)では、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(9月)は上昇。全国の生産(10月)は低下。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

○鉱工業生産指数【大阪府(9月)は2ヶ月ぶりの低下。「輸送機械工業」、「化学工業」などが低下。近畿(9月、鉱工業)は2ヶ月連続の上昇。全国(10月、鉱工業)は2ヶ月連続の低下。】

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

鉱工業生産指数

季調済	22年8月	9月	10月
大阪府	99.3	P 92.4	
近畿	95.8	97.0	
全国	100.2	98.5	P 95.9

鉱工業出荷指数

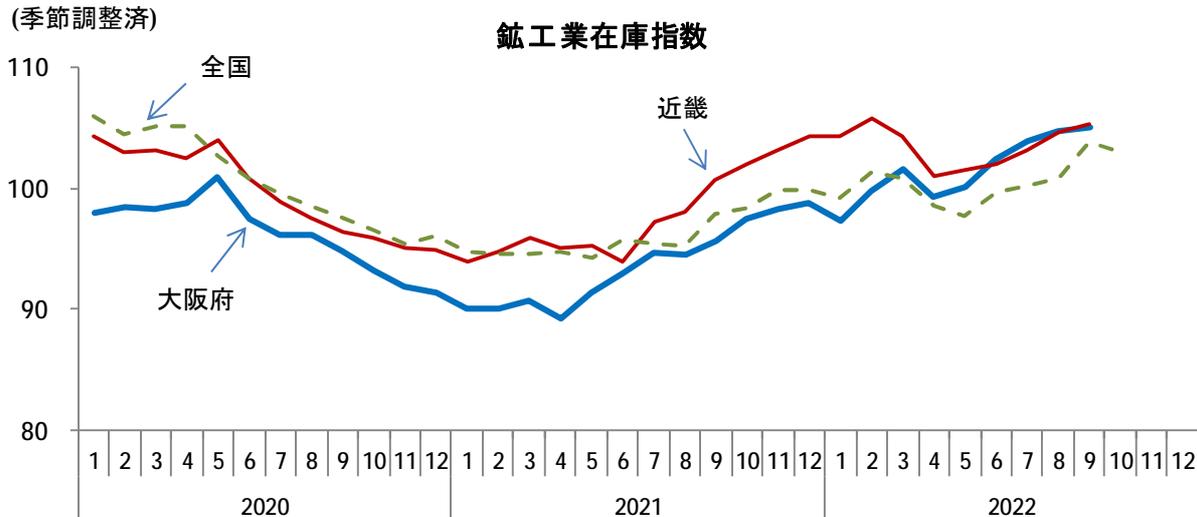
季調済	22年8月	9月	10月
大阪府	94.6	P 89.7	
近畿	93.9	95.2	
全国	97.5	95.1	P 94.1

生産指数における産業別の主な変動  
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、9月速報)

上昇	食料品工業(4.5):ビール・発泡酒、ウイスキー 窯業・土石製品工業(13.6):ファインセラミックス(構 材)、光学用ガラス素地 金属製品工業(1.8):産業用アルミニウム製品、飲料用 アルミニウム缶
低下	輸送機械工業(▲48.5):鉄道車両部品、小型乗用車 化学工業(▲10.9):医薬品、酸化エチレン 生産用機械工業(▲14.4):シヨベル系掘削機械、超硬 工具

## [供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(9月)は5ヶ月連続の上昇。「金属製品工業」、「化学工業」などが上昇。近畿(9月)は5ヶ月連続の上昇。全国(10月)は5ヶ月ぶりの低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
 ※大阪府は製造工業指数。2015年=100。

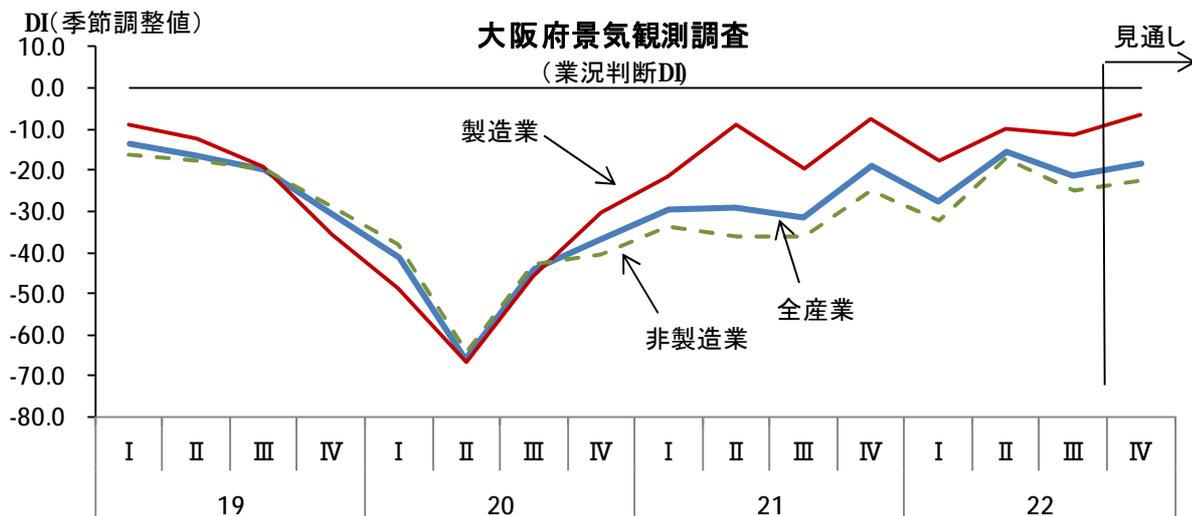
鉱工業在庫指数

季調済	22年8月	9月	10月
大阪府	104.7	P 105.1	
近畿	104.6	105.3	
全国	100.9	103.8	P 103.0

在庫指数における産業別の主な変動  
 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、9月速報)

上昇	金属製品工業(7.8):産業用アルミニウム製品、作業工具
	化学工業(3.6):界面活性剤、アンモニア
低下	輸送機械工業(▲49.6):小型乗用車
	電気・情報通信機械工業(▲0.7):セパレート形エアコン(室外)、蛍光灯

○企業の業況判断【7~9月期(全産業)は2期ぶりの悪化。】

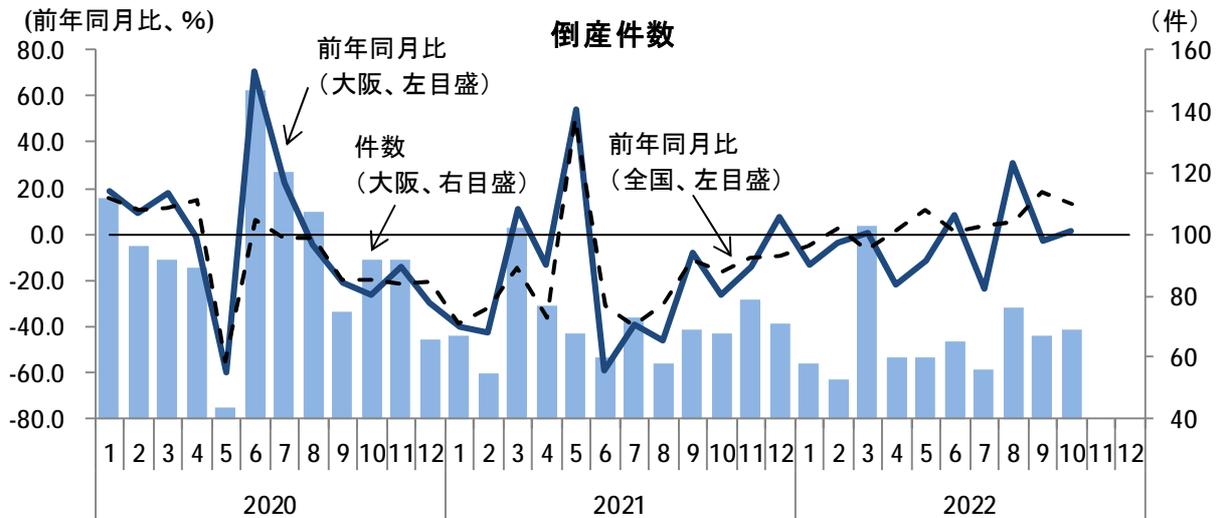


(資料)大阪産業経済リサーチ&デザインセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	22年1~3月	4~6月	7~9月	10~12月(見込み)
製造業	▲17.9	▲10.2	▲11.2	▲6.7
非製造業	▲32.4	▲17.1	▲24.9	▲22.4
全産業	▲27.8	▲15.8	▲21.3	▲18.3

## [供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で2ヶ月ぶりの増加(悪化)、負債金額は前年同月比で2ヶ月ぶりの増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		22年8月	9月	10月
件	大阪府	76	67	69
前年比 (%)	大阪府	31.0	▲2.8	1.4
	全国	5.5	18.6	13.5

負債金額

		22年8月	9月	10月
億円	大阪府	175	106	56
前年比 (%)	大阪府	79.9	▲40.4	28.1
	全国	22.4	59.4	▲11.6

主要業種の倒産件数(大阪府)

	22年8月	9月	10月
建設業	16	15	8
製造業	5	3	6
卸売業	15	10	3
小売業	5	7	13
サービス業他	23	28	32

主な倒産(大阪府、10月)

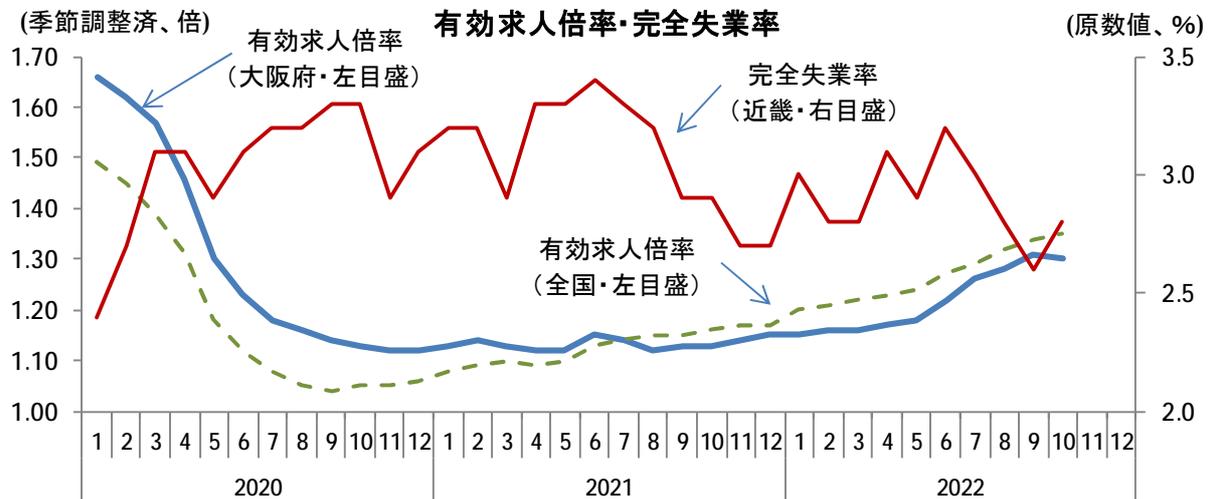
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
一般貨物自動車運送業	710	放漫経営
ペット用マット製造販売	660	その他
医療器材製造販売	550	販売不振
プラスチック製品製造販売	409	信用性低下
菓子製造販売	318	販売不振

## [供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きが続いている。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(9月)は上昇。

### ○完全失業率【近畿は前年比で14ヶ月連続の改善】

有効求人倍率【大阪は14ヶ月ぶりの低下】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月連続の上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	22年8月	9月	10月
%	2.8	2.6	2.8
前年同月差	▲0.4	▲0.3	▲0.1

完全失業率(全国、季節調整値)

	22年8月	9月	10月
%	2.5	2.6	2.6
前月差	▲0.1	0.1	0.0

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	22年1~3月	4~6月	7~9月
大阪府	2.9	3.6	3.3
近畿	2.8	3.1	2.8
全国	2.7	2.7	2.6

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	22年8月	9月	10月
大阪府	1.28	1.31	1.30
全国	1.32	1.34	1.35

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	22年8月	9月	10月
大阪府	2.45	2.50	2.61
全国	2.32	2.27	2.33

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減  
(大阪府、前年同月比(%))

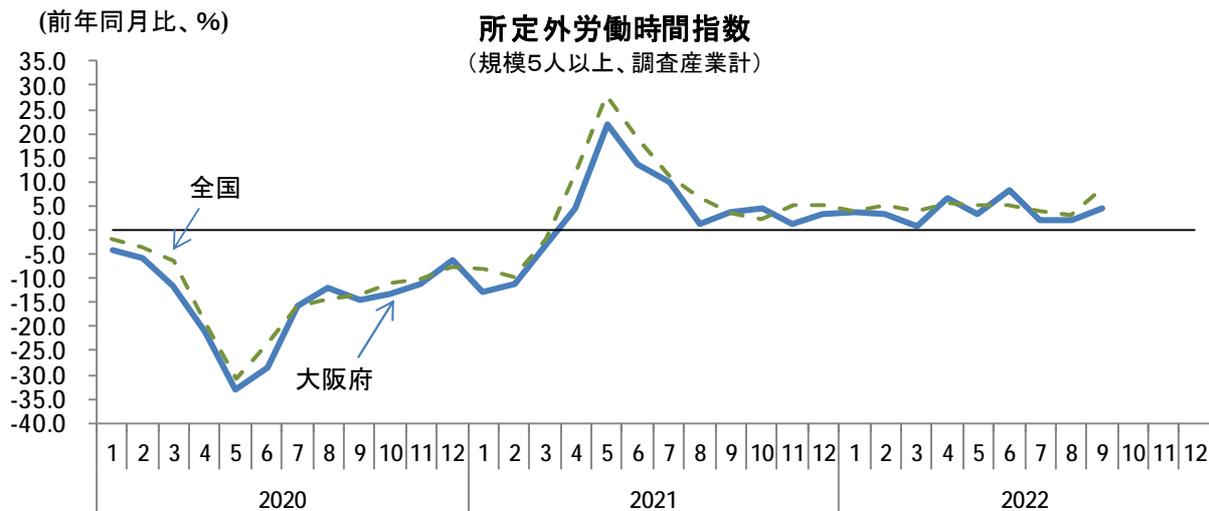
	22年8月	9月	10月
産業計	10.8	8.2	9.3
建設業	3.8	▲2.2	6.7
製造業	16.0	14.4	12.5
卸売業、小売業	20.3	22.6	12.5
宿泊業、 飲食サービス業	12.1	22.9	31.7
医療、福祉	3.1	3.4	2.5

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

## [供給] 雇用

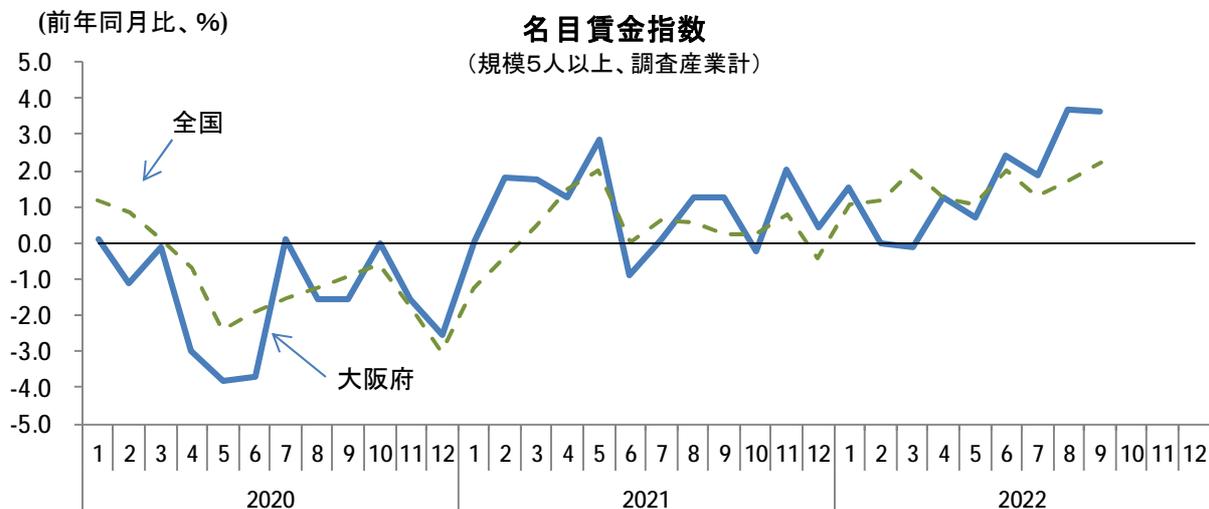
### ○所定外労働時間指数【大阪府(9月)は18ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		22年8月	9月	10月
指数	大阪府	98.8	105.9	
前年比 (%)	大阪府	2.2	4.4	
	全国	3.1	8.3	

### ○名目賃金指数【大阪府(9月)は前年同月比で6ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

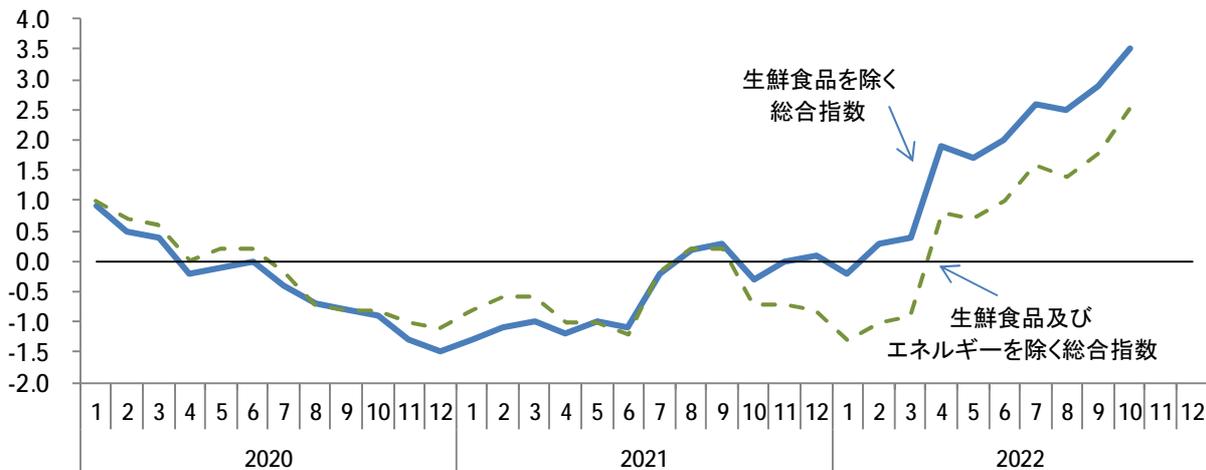
		22年8月	9月	10月
現金給与総額(円)	大阪府	287,237	289,312	
前年比 (%)	大阪府	3.7	3.6	
	全国	1.7	2.2	

## [その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 9 ヶ月連続の上昇。「食料」「光熱・水道」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 7 ヶ月連続の上昇。】

(前年同月比、%)

消費者物価指数(大阪市)



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

総合指数

		22年8月	9月	10月
指数	大阪市	102.0	102.5	P 103.3
前年比 (%)	大阪市	2.7	2.9	P 3.8
	全国	3.0	3.0	3.7

生鮮食品を除く総合指数

		22年8月	9月	10月
指数	大阪市	101.8	102.1	P 102.8
前年比 (%)	大阪市	2.5	2.9	P 3.5
	全国	2.8	3.0	3.6

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		22年8月	9月	10月
指数	大阪市	100.6	100.8	P 101.5
前年比 (%)	大阪市	1.4	1.8	P 2.5
	全国	1.6	1.8	2.5

総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%))、寄与度順、10月速報)

上昇	食料(7.4):魚介類(いわし、あじ、塩さけ)、肉類(牛肉(輸入品)、豚肉(輸入品)、ソーセージ)
	光熱・水道(5.9):ガス代(都市ガス代、プロパンガス)、他の光熱(灯油)
低下	住居(1.6):設備修繕・維持(外壁塗装費、火災・地震保険料、屋根修理費)
	教養娯楽(▲0.1):教養娯楽サービス(サッカー観覧料、宿泊料、テーマパーク入場料)

